

第2次郡上市総合計画実施に向けて（シリーズ第5回）

郡上市は、今年度から10年間のまちづくりの指針となる第2次総合計画を策定しました。今後、10年間の基本構想並びに前期5年間（平成28～32年度）の基本計画に基づく様々な取り組みを推進します。そこで、市民のみなさんに取り組み内容を知っていただくため、前期基本計画に掲げる具体的な取り組みについてシリーズで紹介していきます。第5回目となる今回は、環境水道部と消防本部の主な取り組みについてお知らせします。

環境水道部の取り組み



■ 自然環境を守り、快適な住環境の実現を目指します

- ◆取り組みの方向性…清流長良川をはじめとする、河川や山林などの優れた自然環境は貴重な資産です。これらを後世に残すために自然環境保護に努めます。また、不法投棄などによる自然環境への悪影響を未然に防止します。

【主な取り組み】

- （仮称）清流長良川保全条例の制定に向けた検討

世界農業遺産に認定された「清流長良川の鮎」を育む長良川を、後世に伝えていくための条例制定について策定委員会を設置し、検討します。

- 不法投棄の防止

不法投棄は後を絶ちません。パトロールを実施し、不法投棄の防止に努めます。



不法投棄現場

■ 循環型社会の実現を図ります

- ◆取り組みの方向性…限りある資源を有効に利用し、環境への負荷を減らすため、廃棄物の適正な処理や4R（リデュース、リフューズ、リユース、リサイクル）の推進により循環型社会の形成推進を図ります。

【主な取り組み】

- 可燃ごみの減量化

可燃ごみの処理量は近年横ばいが続いています。ごみ分別の啓発や、生ごみ堆肥化の推進により、可燃ごみの減量化に努めます。

- 廃棄物処理施設の整備

廃棄物処理施設の維持管理、老朽化した施設の更新や、最終処分場の確保はごみ処理のために必要不可欠です。廃棄物処理施設を計画的に整備し、適正なごみ処理に努めます。



生ごみを堆肥化するダンボールコンポスト

■ 効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります

- ◆取り組みの方向性…市民のライフラインである上下水道の安定供給・処理のため適切な維持管理に努めるとともに、効率的な運用のための施設の統合・更新を行います。

【主な取り組み】

- 水道の安定供給の実現

計画的な漏水調査による漏水箇所の早期発見、老朽管布設替え、水道施設の統合を実施し、水道の安定供給を実現します。

- 下水道施設の効率的な運用

人口減少社会における下水道施設の効率的な運用のため、下水道施設の統廃合の計画を策定し実施します。



水道施設統合
（高鷲北部簡易水道 吹浄水場）

消防本部の取り組み



■暮らしの中の安全・安心を守ります

◆取り組みの方向性…近年、全国各地で地震や豪雨による被害が多発し、大きな被害をもたらしていることから、いつ起こるか分からない災害に対応できるよう、消防力及び救急救助体制の充実・強化、住宅防火防災対策に取り組みます。

【主な取り組み】

●消防団の充実・強化

地域防災力の要である消防団の充実・強化に取り組みます。

◇消防団協力事業所の認定、災害等支援団員の確保
会社務めの団員が多くなる中、団員が働く事業所のご理解ご協力により活動しやすい職場環境となるよう、消防団協力事業所の認定を進めます。また、所属地域以外や市外で働く団員の増加により、平日昼間の災害に対応できる団員が減少しているため、災害等支援団員の確保に努めます。

※消防団協力事業所表示制度
詳細は「消防本部ホームページ」をご覧ください。

※災害等支援団員
消防団OB等で災害発生時だけに活動する消防団員のことです。

◇新たな試みとして消防団員婚活イベントを開催

これは、大切な人、大切なまちを守る消防団員に、出会いの場を提供し、充実した生活環境の中で、地域に根付いた活躍につなげるのが目的です。また、開催結果を踏まえながら、毎年続けていきたいと考えています。

GUJO CITY FIRE MAN KONKATU



◇消防団活動を安全に行うための装備品を整備

これまでに、冬期活動用防寒衣、火災活動用防火衣、夜間活動用ヘッドライトの整備を行いました。今後も計画的に、雨天活動用カッパ、河川活動用救命胴衣、応急救護セット等の整備を進めていきます。

●救急救助体制の強化

多様化する災害事故への備えを充実するため、消防車や救急車の老朽化にともなう更新とともに、機能の充実した最新の資機材を計画的に整備します。また、職員の指揮能力、現場対応能力の向上、山間地救助活動の強化を図るとともに、救急救命士の養成、各種資格取得を進め、質の高い消防サービスが提供できる人材を育成します。



●住宅防火防災対策の実施

住宅防火防災に大切なのは、自分で自分の命を守り隣近所の住民で助け合うことです。各種住宅用防災機器及び防災品等の普及促進を図り、住宅の防火安全度向上への支援を行います。また、大規模な災害発生時に電気、水、ガスのライフラインが途絶えた場合に家庭にある物や食品を活用した食事づくりなど、家庭における防災対応力向上への支援を行います。

